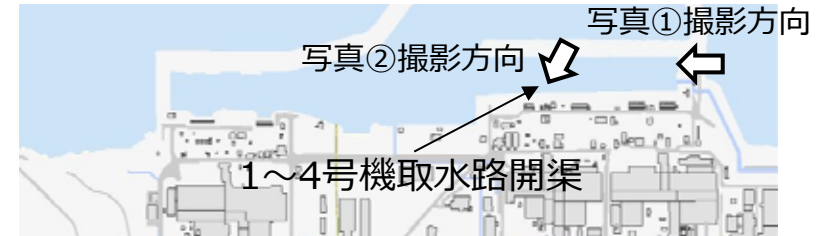


福島第一原子力発電所 メガフロート津波等リスク 低減対策工事の進捗状況について

< 参 考 資 料 >
2018年12月10日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 1～4号機取水路開渠内では、2018年11月12日からメガフロートを移設するにあたっての海側遮水壁を保護するための防衝盛土工事を順次進めています。
- メガフロートを移設・安定（メガフロートが着底マウンドに着底し、内部にモルタル充填完了）し、津波リスクが低減されるのは、2020年度上期頃を計画しております。なお、護岸および物揚場として有効活用される時期は、2021年度内を目途としております。



写真① <海側遮水壁防衝盛土工事の様子>



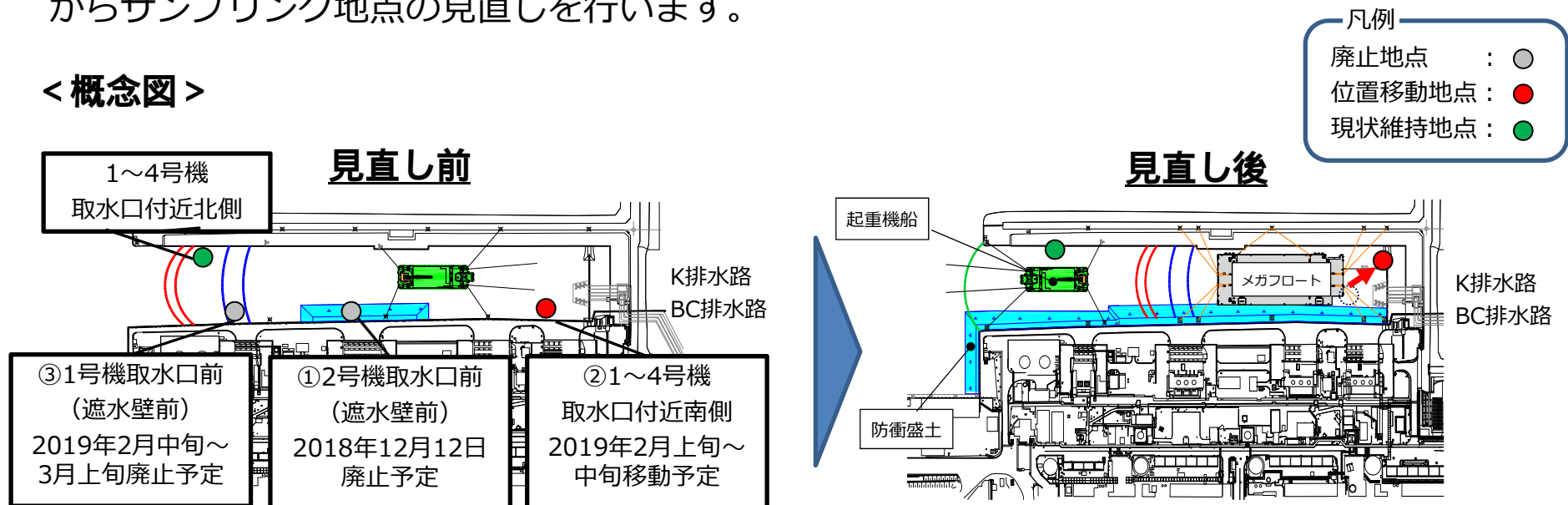
写真② <海側遮水壁防衝盛土>

TEPCO

メガフロート津波等リスク低減対策工事の進捗に伴う 1～4号機取水路開渠内のサンプリング地点の見直しについて

- メガフロート移設工事における防衝盛土工事の進捗に伴い、現在海側遮水壁前で手汲みで行っている海水サンプリング地点が埋め立てられ、サンプリングが出来なくなるため、12月12日からサンプリング地点の見直しを行います。

< 概念図 >



< 見直し内容 >

- ・防衝盛土工事により埋め立てられる2号機取水口前 (①) 、1号機取水口前 (③) については、対岸近傍に1～4号機取水口付近北側にサンプリング地点があることから廃止します。
- ・1～4号機取水口付近南側 (②) については、K排水路、BC排水路の排水口に近いことから、工事との干渉の無い位置に変更してサンプリングを継続します。
- ・なお、過去のモニタリング結果から、開渠内各地点の放射性物質濃度の傾向に大きな違いは無く、本見直しによって開渠内の放射性物質濃度の把握に問題は無いと考えています。